



SECOND
HARVEST
NAGOYA

2023

たくさんの「支援」をいただきました

ANNUAL

たくさんの「ありがとう」もいただきました

REPORT



認定NPO法人 セカンドハーベスト名古屋

東海地方における食のセーフティネット構築をめざして



いつもご支援ご協力を頂きありがとうございます。

フードバンク事業で大切なことは、食品を提供してくださる方の信頼を得ることで、賞味期限を含む品質管理に万全を期すとともに、食品の転売や不正使用を防止するための仕組みの構築です。提供企業と同意書を締結するとともに、食品提供先団体とも同様の同意書を締結し、活動実態の査察を行うことでこれを担保しています。

自らも日本フードバンク連盟に所属し、数年に一度の衛生監査を受審し食品管理に万全を期している次第です。

行政と連携した個人支援については、東海3県のほぼ全ての相談窓口と連携できましたが、団体支援については団体が食品を引取る仕組みのため、名古屋近郊の団体に限られる状態です。フードバンクは地産地消の活動でもあり、ミッション達成には東海3県の各所にフードバンクを育成する必要があるため、**2022年から東海3県の6つのフードバンクと連携し食品の融通を行う仕組み(フードバンクネットワーク東海)を試行しています。**

2023年はウクライナ戦争に端を発した原油価格高騰に伴う諸物価高騰が始まりました。この影響で食品メーカーは従来に増して食品ロス低減に注力されたことで、私どもへの**寄贈量減少の傾向が顕著になりました。**

食品取扱量は対前年13%減の452.6トンとなりましたが、個人支援件数はコロナ禍で増大した年間7000件レベルで継続しており、団体支援量が若干減少するという結果です。そのため、個人の方からの寄贈量を増やすべく**フードドライブ活動の浸透に力点を置いた活動を進めています。**

2024年もこの傾向は続くと思われることから、**フードドライブの浸透と東海3県におけるネットワークの充実に力点を置いて活動を進めて行きたいと考えています。**今後ともご支援の程よろしく申し上げます。

2023年のハイライト

ボランティア延べ人数

2910人

2~6時間/人・日

食品収集量

452.6トン

食料支援団体数

183団体

食料支援箱数

6985箱

マスコミ登壇数

45回

セカンドハーベスト名古屋の活動概要

セカンドハーベスト名古屋（以下、2HN）はフードバンク活動に専念しており（直接の困窮者支援は行わない）、各種福祉団体や行政と連携して活動を行なっています。そのため主な活動は、1、食品収集、2、各種福祉団体等と連携した団体支援、3、行政の相談窓口等や児童養護施設等と連携した個人支援です。

01

食品収集

定期的に寄贈いただいている食品の引取り、新規の寄贈や寄贈量を増やすための営業・広報、フードドライブ（以下、FD）の支援、フードバンクネットワーク東海の充実等、あらゆる活動をしています。

02

団体支援

連携する団体をパートナー団体とよび、私たちに代わって必要な人に食品を届ける対等な立場の団体と考えています。

03

個人支援

東海三県の行政の相談窓口等を通じた個人支援と、児童養護施設等と連携したケアリーバー支援があります。

食品メーカー

食品流通業者

企業（備蓄食品）

FD実施団体

個人

寄付



SECOND
HARVEST
NAGOYA

提供

ホームレス支援団体

外国人支援団体

母子生活支援施設

児童養護施設

行政の相談窓口

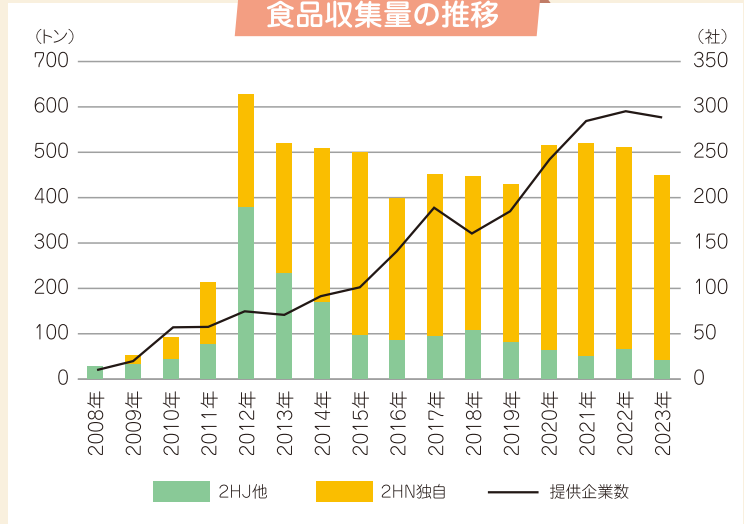
01 食品収集

食品収集

SDGsの広がりやウクライナ侵攻後の深刻な諸物価高騰により、食品メーカーはロスを少なくするために懸命の努力を続けています。

2023年度は食品の入荷が前年比3割減の月もあり、年間収集量は452.6トンとなりました。

食品収集量の推移



食品の引取り

上記のように1社あたりの食品寄付量は減少傾向ですが、東海コープ事業連合、山崎製パン、岩田食品、ハウス食品グループ、中部グローバル青果、ドール等(順不同/敬称略)定期的に寄付いただいている企業への食品引取りを継続することができました。

2024年は新たな引取りが増えることになり、ボランティアの新たな引取りシフト編成も課題です。

Voice

東海コープ
事業連合
塚田様



誰でも笑顔で暮らせる社会をめざしており、食品ロス削減のためにも、2HNへの食品寄贈を続けていきたいです。

Voice

ボランティア

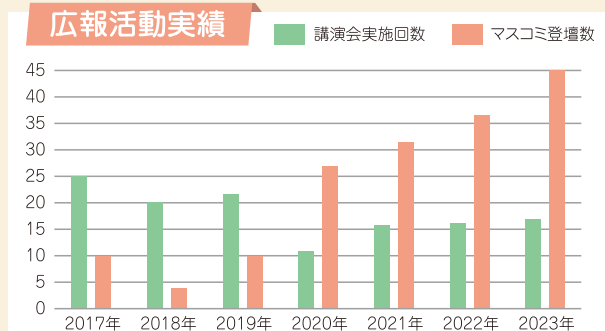


食品引取を担当して2年が過ぎました。おコメなど様々な食品をご寄付いただいています。最近、なぜか「自分自身がいただいている」ような感覚になってきて(もちろん後で配る物なのですが)、有難みが増してきているのが不思議です。

営業・広報活動

現在、約300社の企業とおつきあいがあります(p12食品寄付企業一覧参照)。「数社の企業から大量に寄付いただく」から「数多くの企業から少しずつ、品数多く寄付いただく」へ変わりつつあります。今後もこの傾向は続く見通しで、寄付を待っているの

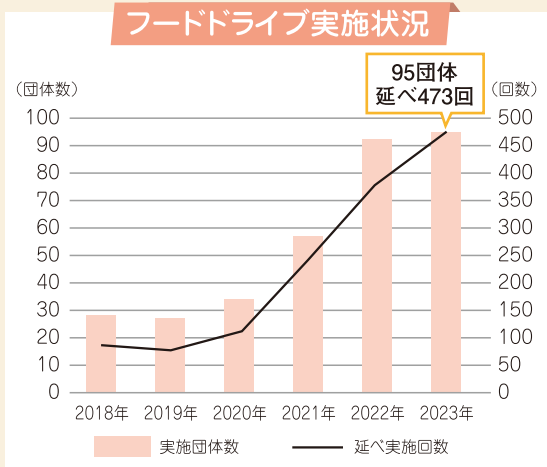
広報活動実績



ではなく、こちらから積極的に食品寄付をお願いする営業活動がとても大事になっています。

同様に、2HNの活動をより理解してもらうための広報にも積極的に取り組んでいます。2023年度は、新聞テレビ等のメディアに45回登壇することができました。

フードドライブ (FD)



FDは少しずつ認知度が上がり、市区町村、企業や学校、各種団体等様々な団体が定期的にFDを行い、2HNへ寄付いただいています。また、年間を通じて活動いただく団体も増えてきました。

スポーツ界でもFDの取組が広がっています。3年前のサッカーの名古屋グランパスから始まり、バスケの名古屋ダイヤモンドドルフィンズ、ファイティングイーグルス名古屋、バレーボールのトヨタ車体クインシーズと続き、最後は中日ドラゴンズで締めくくる事が出来ました。

Voice



連合愛知
安達様

連合愛知の社会貢献活動の一環として、2018年からFDに取り組んでいます。組合員の家庭や職場から食品を持ち寄り、生活に困窮している家庭や福祉施設に提供しています。

フードバンクネットワーク東海

2022年東海地方の6フードバンク団体とネットワークを結成し、食品の融通や情報共有を行なっています。

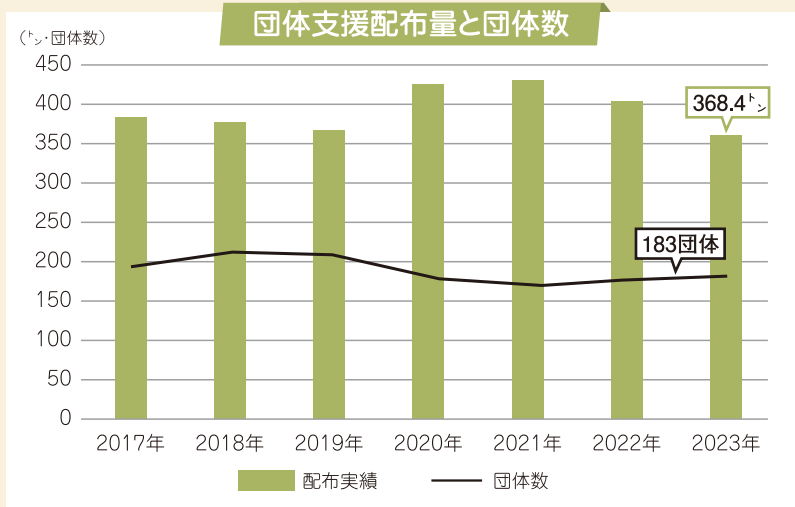
2023年はスギ薬局と連携し、各フードバンクの最寄り店舗からの食品寄贈が始まりました。

参加団体

- ① フードバンクのわみ (愛知県一宮市)
- ② 三好丘緑フードバンク支援センター (愛知県みよし市)
- ③ 常滑市社会福祉協議会 (愛知県常滑市)
- ④ 東三河フードバンク (愛知県豊橋市)
- ⑤ フードバンクぎふ (岐阜県大垣市)
- ⑥ フードバンク多文化みえ (三重県津市)



パートナー団体支援



ここ数年、支援を行う団体数にはほぼ変化はありませんが、食品の提供量が年々減りつつあります。2023年は前年より約10%も減りました。

これまで定期的に入荷のあった豆腐や、卵、野菜も激減し、円安や物価高騰などの影響が大きいと考えられます。

パートナー団体への食品配布

団体支援では、毎日午前中に各団体の活動内容、支援対象者の人数に合わせて食品を仕分け、計量を行い、それぞれの団体専用の台車に積み込み、午後からそれぞれの団体が引き取りに来ます。毎日平均13団体に配布するため、集中しないようあらかじめ15分きざみのスケジュールを組んでいます。

団体支援は全ての団体名と食品がQRコードで管理され、いつ、どこの団体に何をどれだけ配布したかが記録される仕組みとなっています。

課題は、支援が名古屋近郊の団体に限られていること、人手不足などの理由で引取りが難しい団体があることです。今後、食品の配達やネットワークの仕組みをどのように整えていくか検討していく必要があります。



パートナー団体訪問

2023年度はコロナ禍で中止されていた団体訪問を再開し、定期引取り団体を中心に約20団体を訪問しました。

団体訪問では活動内容や施設設備の再確認を行います。 コロナ禍で活動内容や規模が変更になった団体もあり、それぞれの団体の要望を伺い話し合います。寄付された食品を、安全に保管・利用してもらうためにも、定期的な訪問は大切なことだと考えます。今後もそれぞれの団体の活動に寄り添った支援ができるよう努力します。



Voice



ボランティア

訪問先で色々お話が聞け、皆さんの活動に対する熱い思いや、抱えていらっしゃる問題など何う事が出来、お互いに伝えあうことの大切さを実感できました。

2023年の「支え合う会」

2013年パートナー団体による「セカンドハーベスト名古屋を支える会」設立以来、経済的にパートナー団体の皆さんに支えて頂いています。2022年には支えてもらう関係から「**お互いに支え合い、交流や意見交換ができる場をつくること**」を目的に、全ての団体(約280団体)が加入する「2HN支え合う会」として再スタートを切りました。

2023年の支え合う会・全体会(2回開催)では計45(内、オンライン参加16)のパートナー団体の方に参加頂きました。皆さんへのアンケートをもとに2HNの活動報告だけでなく、コミュニティ食堂マルチャンゴー(パートナー団体)、ヤマダイ食品(寄贈食品メーカー)、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター大曾根(行政等相談窓口)、NPO法人ライフテラス(地域連携の取組み)(順不同/敬称略)からミニ講演という形で現場での貴重なお話を伺う事が出来ました。

今後もお互いの交流を深めながら支え合う会に相応しいあり方を模索したいと考えています。



Voice



ボランティア

会への参加をきっかけに食品メーカーさんと子ども食堂の交流が始まりました。予想外の展開が、嬉しく、有難く、感謝です。

Voice

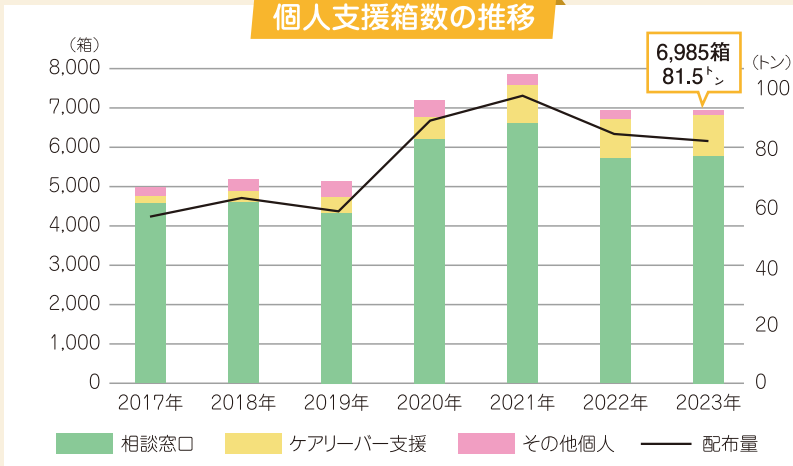


ボランティア

2HNのボランティアさんやパートナー団体の参加が少なく残念でした。来年はもっと多くの方に参加してもらえよう頑張ります。

行政と連携した個人支援

個人支援箱数の推移



コロナ禍が多少落ち着いたものの、2023年も年間支援数は7000箱に近い数字になりました。

今後もこの傾向は続くと思われる、支援に必要な食品の確保が課題です。

2HN独自の仕組み

2014年「困窮者自立支援法」モデル事業として設置された名古屋市の相談窓口と連携してスタート。相談員の支持を受け、現在では**東海3県のほぼすべての相談窓口と連携し**、食に困窮する世帯へ食品を届けられるようになりました。

支援箱の内容も「依頼書」の改訂やFD等による寄贈食品の活用により、相談者のニーズに合ったものへレベルアップを目指しています。



窓口担当者との情報交換会を開催

2023年度はコロナで開催できなかった愛知、岐阜、三重県での相談窓口担当者との情報交換会を再開することができました(岐阜はオンライン)。

窓口担当者による事例紹介では実際の相談業務でどのように食料支援を活用しているのか報告していただきました。他の窓口担当者や個人支援に携わっているボランティアも、食料支援の現状がよくわかり、とても参考になったと好評でした。

実際に顔をあわせることでお互いの疑問点などを解消することにもつながりました。



支援箱の作成

相談窓口からの「依頼書」が毎日FAXで届きます。記入もれや内容を確認し、送付状を作成。手書きの手紙や返信用の葉書、注意点をまとめた書類等を添付し、種別、賞味期限別に食品を整理した棚が並ぶ「個人支援エリア」へ。ここで依頼書の内容（世帯構成、現況、主食、調理状況、アレルギー等の有無）に応じて在庫の中からその世帯が使いやすい食品を選んで箱に詰めていきます。

月～金の毎日、15時半までにファックスが届いたものはその日のうちに発送します。そのため、毎日3～5名のボランティアがシフトを組み、平均24箱の支援箱を作っています。アレルギーへの対応や、送付状の入力間違いを避けるための2人での読み合わせなど、気を使うことも多い作業ですが、食品を受け取った方に喜んでもらえるよう心がけています。

課題は食品の寄付も支援箱の依頼も予測できないことです。食品がとても少ないのに依頼が多いこともあり、**賞味期限や、先の見通しを考慮しながらの食品管理が課題となっています。**



Voice

ボランティア



水や電気の止まっている人もいます。依頼書を読み、受け取る相手がどんな状況であっても、食べてもらえるように心がけて箱をつくっています。

Voice

ボランティア



寄付された食品の中から、何が依頼者の状況と合うか、探しつつ食品を選んでいます。隙間なく食品を詰めて、箱を開けた時にひとときでも安心感をもってもらえたら、と思います。



F D等の食品の仕分け

F Dや個人からの寄贈食品は種類も豊富で個人支援に欠かせないものです。

しかし各々賞味期限も違うため、ボランティアが1つずつ賞味期限を確認し、種類ごとに仕分けして個人支援等に使っています。



支援箱の作成（休日活動）

2HNの活動は月～金の平日ですが、月に1度平日就労しているボランティアを対象に休日活動の日を設け、ケアリーバー支援の箱作りをしています。

日曜の午後、毎回5～7人が集まって40～50箱を作成しています。



Voice

休日ボランティア



ケアリーバーからの要望と返信された受領書に記載されている内容を拝見しながら支援箱作りを行っています。様々な状況があり、勉強になります。

社会的養護の施設担当者との情報交換会

2023年夏、施設担当者との初めての情報交換会を開催しました。2回開催し、7施設の担当者と箱作りをしているボランティアが顔をあわせ、支援回数や期間が妥当なのか、支援箱が本当に施設と子どもたちの関係づくりに役立っているのか等率直な意見交換をすることができました。

子どもたちの厳しい現状や、毎月施設へ食品を受け取りにくる子どもがいることなどを知ることができ、この活動の重要性を改めて確認しました。

Voice

施設担当者



支援箱を届けたり、施設に取りに来てもらうことで、子どもたちと月に1回顔を合わせることができています。

Voice

参加したボランティア



ケアリーバーの過酷な状況を聞き、支援の必要性を再認識しました。施設の担当の方々の卒所した子どもたちへの心配りに頭が下がる思いでした。

Voice

参加したボランティア



各家庭の生活スタイルを観察し、丁寧に対応されていることが理解できました。微力ながら活動に関われることを誇りに思います。

2HNのこれからと課題

東海地方における食のセーフティネット構築を目指し、更に活動を進展させる

2024年の活動計画

1. 食品収集 目標500ト

食品メーカーが食品ロス低減に向け努力をしている中、難しい目標であるが営業活動を強化するとともに、フードドライブの浸透のため広報等を通じ積極的に宣伝活動を展開して行く。

2. パートナー団体支援

パートナー団体訪問を計画的に進め、ニーズの把握と提供食品のより有効な活用を目指す。

3. 個人支援

行政等の相談窓口と連携した支援については、ボランティア間あるいは相談窓口とのさらなる情報共有を目指すことにより、食品の有効利用につとめる。

ケアリーバー支援はニーズの把握や支援基準の見直し等により、毎月90～100箱程度の支援を目標とする。

4. フードバンクネットワーク東海のレベルアップ

メーカー直送依頼、配送費の予算化等によりネットワーク間での取引量増加を図るとともに、ネットワーク参加団体の拡大を図る。

5. 広報活動

積極的にマスコミ登壇し、2HNの更なる認知度向上を図る。あわせて挨拶回り等ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを図り、継続的な支援を求めていく。

6. 運営体制の確立

上記の活動に必要な事務局員の増強を検討する。

7. 能登半島地震対応

元旦に発生した能登半島地震の被災者支援に向け、日本フードバンク連盟と連携して支援を行う。さらに、一方、東日本大震災時に実施した「ごはん応援箱」活動を今回も実施できるよう検討を進める。

活動充実に向けての課題

1. 全国のフードバンクとの更なる連携

日本フードバンク連盟に所属するだけでなく、各地のフードバンクとの個別の連携も必要であると思われるため、連携できる条件を明確にし、積極的に連携拡大を図る。

2. 集荷、配送手段の拡大

取扱量の増加に向け、外部倉庫や配送手段の拡張が必要と思われることから、外部委託配送も含め検討を進める。

活動を支えてくださった企業・団体の皆さま(一部)

※順不同
敬称略

生活協同組合連合会
東海コープ事業連合

生活協同組合連合会
東海コープ事業連合



ヤマダイ食品株式会社



山崎製パン株式会社



マルサンアイ株式会社

食でつなぐ、人と笑顔を。



ハウス食品グループ



岩田食品株式会社



春日井製菓株式会社



株式会社ドール



日清食品グループ



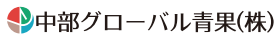
味の素AGF株式会社



味の素AGF株式会社



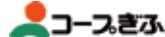
キャンベルジャパン株式会社



中部グローバル青果株式会社



生活協同組合コープあいち



生活協同組合コープぎふ



生活協同組合コープみえ



日本労働組合総連合会
愛知県連合会



カネハツ食品株式会社



キュービー株式会社



伊藤忠食品株式会社



中日本高速道路株式会社



愛知県

<食品寄贈>

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
豊田通商株式会社
アサヒ飲料株式会社
社会福祉法人愛知県共同募金会
キリンビバレッジ株式会社
刈谷市役所
株式会社東海シジシー
三重県社会福祉協議会
名古屋市環境局
株式会社チェリオ中部
トヨタ自動車株式会社
株式会社シーテック
島工業株式会社
一般社団法人こどもがセンター
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
株式会社オリエンタル
アサヒグループ食品株式会社
日本生活協同組合連合会
愛知機械工業株式会社
東亜合成株式会社
江南市役所
マルハニチロ株式会社
井村屋株式会社
鈴鹿市社会福祉協議会
みんバタ
エージェイエフ有限会社
豊田合成株式会社
東急建設株式会社
のわみ相談所
有限会社木曾岬農業センター
名古屋テレビ放送株式会社
東海住電精密株式会社
NTTコムウェア株式会社
株式会社明治 中部支社
三越伊勢丹グループ労働組合
小林生麺株式会社
株式会社スギ薬局
カリツー株式会社

尾張旭市社会福祉協議会
株式会社ネイチャーコンサルタント
株式会社良品計画
日本郵便株式会社 東海支社
株式会社テクノ中部
株式会社広田
中部経済産業局
タマノイ酢株式会社
家田製菓株式会社
愛知ヨーク株式会社
株式会社UACJ名古屋製造所
日本アクセス株式会社
敷島製パン株式会社
島工業サービス株式会社
株式会社佐乃金
株式会社ティーファス
株式会社おとうふ工房いしかわ
富士通株式会社
株式会社プレナス
大榮産業株式会社
株式会社中日新聞社
愛知ダイハツ株式会社
株式会社種清
東郷町役場
愛知県
株式会社玉露園
名古屋市立菊井中学校
テレビ愛知株式会社
国分中部株式会社
トヨタ博物館
日本銀行 名古屋支店
旭食品株式会社
ヤマモリ株式会社
認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会
日進市役所
日本食研株式会社
愛知ススキ販売株式会社
株式会社大丸松坂屋百貨店

昭光通商株式会社
NX商事株式会社
犬山市役所
多治見市社会福祉協議会
新日本法規出版株式会社
尾張製粉株式会社
株式会社金馬
坂金製菓株式会社
日本特殊陶業株式会社
太田食品株式会社
名古屋市青年大学 鯨城学園
大東建託株式会社
ヴィアイン 名古屋駅前椿町
株式会社モスフードサービス
株式会社アイン・デジタルエンジニアリング
岩倉市役所
中日本ハイウェイ・パトロール名古屋株式会社
中部電力ミライズコネクスト株式会社
特定非営利活動法人 東三河フードバンク
トヨタ自動車株式会社
あまロータリークラブ
株式会社岩田商会
愛知環状鉄道株式会社
株式会社パロー
ジャパンベストレスキューシステム株式会社
森永製菓株式会社
御幸毛織株式会社
株式会社ダイフク
緑区社会福祉協議会
パナソニック株式会社エコソリューションズ社
一般財団法人 コジマ財団
株式会社アサヒセキュリティ
株式会社ATビジネス
株式会社三菱UFJ銀行 名古屋営業部
愛知県信用農業協同組合連合会
イオン大高店
イーテック株式会社
明星食品株式会社

<寄付金支援>

サムティ株式会社
全国労働者共済生活協同組合連合会
原田車両設計株式会社
あまロータリークラブ
中部日本放送株式会社
名古屋キワノスクラブ
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
愛知淑徳大学
豊田市駅前通り南開発株式会社
名港海運株式会社
明治安田生命保険相互会社
株式会社三菱UFJ銀行 名古屋営業部
春日井製菓株式会社
株式会社イーネット
国際ソロプチミスト名古屋・中
株式会社アタックス
豊田自動織機労働組合
立正佼成会
株式会社デンソー
東伸興業株式会社
日本労働組合総連合会愛知県連合会
日本労働組合総連合会三重県連合会
トヨタ車体株式会社
千種ロータリークラブ
全ユニー労働組合
名古屋教会幼稚園
生長の家白鳩会愛知教区連合会
JAIFA愛知県協会
中日本高速道路株式会社
名古屋市信用保証協会
愛知県立天白高等学校
NPO法人イエロー・エンジェル
アイスケ鋼材株式会社
株式会社 ジェイアンドティシステムズ
ブナの森法律事務所
厚生産業株式会社

※上記の他、計494団体および37407人(延べ数)の皆様から沢山の食品やご寄付をいただきました。
ご支援ありがとうございます。

食品を受け取った方の声

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 グラムミツのパンが食べやすかったです。
 お肉の缶詰もおいしかったです。
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 アルミ缶のニハシが食べやすかったです。
 パッケージが良かったです。
- 3.ご意見があれば書いてください。
 果物の缶詰があとと嬉しいです。
 たくさん作ってほしいです。
 ありがとうございます。



受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 お米 (お米がおいしいので)
 油 (揚げ物に使うので)
 マスター (おいしいと手軽で便利)
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 全くありません。
 これを使って、今日は何か作りたいなと
 思うことができました。
- 3.ご意見があれば書いてください。
 箱にはいろいろな食品が入っていて、
 コレに食料品の充実したお米も入っていて
 ありがとうございます。明日は何か作りたいなと
 思うことができました。是非とも
 是非ともお願いします。

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 お米 スロウチー うどん そろばん
 めんつゆ おみそ コシノメ ねみ油
 これ以外の食品もうれしいです。
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 何一つありません。
- 3.ご意見があれば書いてください。
 食料品と一緒にといた
 「キモチ」が一緒にうれしいです
 本当にありがとうございます。感謝です！

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 すべて
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 ない
- 3.ご意見があれば書いてください。
 本当にありがとうございます。

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 トマトカレーパスタ、うどんやそば、
 玄米の中は朝飯と夜飯で食べやすかったです。梅
 干し、バナナ、お菓子類も
 全部美味しかったです。完全メシ感謝です。
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 全くありません。スーパはリゾントで食べ
 ました。パンは食べました。お菓子類も
 全部美味しかったです。完全メシ感謝です。
- 3.ご意見があれば書いてください。
 食料支援箱の充実したお米も入っていて
 ありがとうございます。明日は何か作りたいなと
 思うことができました。

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 全部ですが特に麺類は
 有難く助かりました。
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 ありません
- 3.ご意見があれば書いてください。
 何度転んでも頑張れ！大丈夫！
 ーフー食品から感じました。
 感謝の気持ちでいっぱいです。

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 全てです。お米、トマト食品、スーパ類は
 本当に助かりました。
 お菓子類 (甘い食品) も嬉しかったです。
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 缶詰のあんぱんが少し、お肉 (バラ肉) が少し
- 3.ご意見があれば書いてください。
 お手紙と添えて下さり…
 皆様の善意と本当に有り難く感じました。
 大切に大切に頂きます。
 ありがとうございます。

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 お米、麺類、お肉、お菓子類は
 ありがとうございます。
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 普段自分では購入していません。お菓子類
 がありました。お肉は頂戴しました。新しい
 食料支援箱が来ました。
- 3.ご意見があれば書いてください。
 食料支援箱の充実したお米も入っていて
 ありがとうございます。明日は何か作りたいなと
 思うことができました。

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

- 1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 お米、お菓子類、スーパ
 ・缶詰 ・お肉
- 2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 なし
- 3.ご意見があれば書いてください。
 本当に困っていたので、本当に助かりました。
 食料支援箱の充実したお米も入っていて
 ありがとうございます。明日は何か作りたいなと
 思うことができました。

※こちらに掲載した受領ハガキは、「公開可」に○をつけていただいたものです。



寄付のお願い

いつも2HNの活動へのご理解、ご協力をありがとうございます。
私たちの活動は行政からの支援は一切なく、皆様からの寄付金、会費、助成金などにより支えられています。
今後も皆様のあたたかいご支援、何卒よろしくお願いいたします。
※2HNは名古屋市の認定NPO法人で、2HNへの寄付は所得税の寄附金控除の対象となります。

銀行振込

三菱UFJ銀行 栄町支店 普通口座 0015287

特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋

※領収書が必要な方は、info@2h-nagoya.org までご連絡ください。

クレジットカード

単発での寄付だけでなく、毎月の継続寄付メニューもご用意しております。

■ 1,000円/月 ■ 3,000円/月 ■ 5,000円/月

■ 10,000円/月



2023 ANNUAL REPORT

2023年次報告書

2024年3月発行

認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒462-0831 愛知県名古屋市北区城東町七丁目148番地

TEL:052-913-6280 FAX:052-913-6281

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:https://www.2h-nagoya.org/